

【視察委員】 委員長 吉永 健司 副委員長 東 孝助  
委員 島田 敏春 委員 来海 恵子  
委員 坂本 武人 委員 濱元 幸一郎  
委員 西島 隆博

### 総務常任委員会

平成26年9月29～30日 福岡県太宰府市・大野城市

#### 9月29日 福岡県太宰府市 市民遺産の取り組み

太宰府市は、太宰府天満宮をはじめ、特別史跡や名所旧跡が多く点在する九州屈指の観光地であり、平成17年には九州国立博物館も開設され、年間700万人を超す観光客でにぎわう活気ある市です。市北部には水城跡、大野城跡、太宰府跡と3カ所の国特別史跡があり、その他にも多くの有形、無形文化財が無数に点在する地域です。これらの歴史、文化を守るため、また、多くの観光客が一部に集中する現状から、市内全体の史跡を観光資源として確立するために、市民遺産活用推進計画を策定、その後、景観と市民遺産を守り育てる条例を施行されました。また、「太宰府市民のお宝」を発見・見守るためのポランテアによる文化財調査も行われており、市民遺産が地域活性化に繋がる取り組みとなっていました。



太宰府市

大野城市は、福岡市の南東に位置し交通アクセスの良さからベッドタウンとして成長を続けています。窓口改革は、平成17年に当選した市長の公約に掲げられ、トッパダウンでのスタートとなり、平

成18年に「週末窓口サービス」、19年には、コールセンターを開設され、平成20年には、福岡県の補助事業「福祉のまちづくり支援事業」の認定を受け、市役所を訪れた市民がいくつもの窓口を移動して行っていた手続きを、一つの窓口で終わらせるワンストップサービスを実現するための総合窓口「まどかフロア」が開設されました。また、その業務の多くを民間委託されており、証明書等は、自動で発行する事ができる「しよつめい君」という機械も導入されていました。



大野城市

#### 9月30日 福岡県大野城市 窓口改革について

窓口改革についても、現状の2庁舎、2支所体制である本市において、その在り方を考える部分も多く感じられました。窓口改革については、市民の負担を考慮すれば、現状でも解消できる部分も多く、市民ニーズに応じた導入の必要性を強く感じました。

### 議会広報調査特別委員会

平成26年10月6～7日 福岡県福津市・佐賀県神埼市

【視察委員】 委員長 島田 敏春 副委員長 今村 直登  
委員 上田 欣也 委員 後藤 修一  
委員 松本 龍一 委員 西島 隆博

#### 10月6日 福岡県福津市 議会広報編集方針等について

福津市は、平成17年福岡市と津屋崎町の合併によってできた市で、面積約52.8km<sup>2</sup>、人口約5万8,000人で、福岡市および北九州市に近接しており、交通の利便性も良く、通勤、通学にも便利で活気のある地域でした。広報委員会は、3常任委員会から各2名の6名で構成されており、写真の活用やわかりやすくを目標に行政用語をできるだけ排除し、誰にでもわかる言葉を使うなど心がけておられました。さらに今年8月号からは「がんばる人」の連載を始めており、初回は「みらいを育てる人」ということで企画されていました。



福津市

#### 10月7日 佐賀県神埼市

神埼市は、平成18年神埼町、千代田町、脊振村の合併によってできた市で、面積約125km<sup>2</sup>、人口約3万2,600人で、佐賀市と隣接しており、交通の便も良く、住み良い地域のようでした。広報委員会は、6名で構成されており、写真を多く活用してわかりやすくすることや一般質問は、なるべく修正を行わず、誤字、脱字のチェックだけということでした。特徴としては、Q&Aを多くして市民目線でわかりやすくということでありました。さらに「これが聞きたいコーナー」等も企画されていました。



神埼市

#### 所感

広報紙が市民にわかりやすく、いかに読んでもらえるかに努力研究されていました。参考になったことを十分に検討しながら取り組んでいきたいと思えます。

【視察委員】 委員長 木村 祐一 副委員長 丸内三千代  
委員 神田 公 委員 尾方 洋直  
委員 後藤 修一 委員 松本 龍一

### 健康福祉常任委員会

平成26年10月2～3日 福岡県直方市・春日市

#### 10月2日 福岡県直方市 健康への取り組み

直方市は、人口58,100人、高齢化率29.1%の自治体でありました。今回研修した「おがた元気ポイント事業」は、高齢化率が高く介護認定率が高い中にある、簡素な制度で地域住民の自主性に任せるということで考えられた制度でありました。



直方市

概要としては、健診の受診および市主催の介護予防事業や地域で自主的に実施する介護予防や健康に関する活動への参加に対してポイントを付与し、商品券と交換できる制度でありました。直方市に住民登録している65歳以上の人が対象で、個人で登録を行いポイントを得る個人登録と、5人以上で団体登録を行い、ポイントを得る団体登録がありました。地域住民の自主性からなる健康づくりに取り組み直方市の制度には、大変参考になることができました。

#### 10月3日 福岡県春日市 子育て支援等について

春日市は、九州内での人口密度が那覇市に次いで2番目に高く、平均年齢36.6歳と若い人の多いまちであった。認可保育所10カ所で1,670人の定員に対して、毎年度4月平均待機児童数は20人前後とのことでありました。待機児童対策としては、まず定員枠の拡大から私立の誘致や公立の増築を図り、平成15年4月以降で470人の増(40%)となっていました。なお、保育士確保が難しい中、公設公営保育所における0～1歳児の嘱託保育士(4人)の雇用増が図られていました。今後、1カ所ある認定こども園(地方裁量型)の認可保育所化や耐震診断を踏まえた公立保育所2カ所の増床建て替えが計画されていました。子ども・子育て支援事業計画策定については、子ども・子育て会議の委員13人の意見も聞き、表現などを工夫し、独自調査項目を追加調整され行われていました。二一ス調査に基づくその他の施策として、一時預かりの拡充や、福岡徳洲会病院の建て替えを機に、院内に病児病後児ケア施設が開設が予定されています。



春日市

### Q

#### 議会の役割について

(「請願・陳情とは」)

### A

市政等について要望があるときは、誰でも市議会に対して請願・陳情をすることができます。

1. 議員の紹介があるものを請願、紹介のないものを陳情とします。

2. 請願・陳情はいつでも市議会事務局で受け付けています。

3. 請願・陳情の形式と手続き

○請願・陳情書には、請願・陳情の趣旨、提出年月日、請願・陳情者(法人や任意団体の場合には名称及び代表者の氏名)の住所・氏名を記載し、押印をしてください。

○請願の場合は、紹介議員の署名又は記名押印が必要になります。なお、紹介議員は1人でも結構です。

○請願・陳情の趣旨(願意・理由)は、できるだけ具体的に、また簡明に記載してください。なお、採択された際に国、県への意見書の提出を希望されるときは意見書(案)の添付もお願いします。

詳しくは、公式ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせてください。合志庁舎 248-2038

### 議会Q&A